

(別紙 1)

(2) 市町村又は特別区(以下「市町村等」という。)に対する補助金で、市町村等が行う住宅給付を支援するもの

例： 市町村等が行う各種家賃補助・住宅改善補助に対する補助金

(公共施設や道路などのバリアフリー施策は除き、住宅に係るものに限る。)

・	<input type="text"/>
・	<input type="text"/>
・	<input type="text"/>
・	<input type="text"/>

【問2】住宅に関する融資で社会的弱者と考えられている高齢者・障害者・子供・低所得者などを給付対象として行われている融資がありますか。その名称と、内には平成8年度における融資実績額を千円単位でお示してください。また、制度の概要が分かる資料がありましたら添付をお願いします。

なお、下記融資が個人を直接の対象とするのではなく、市町村等が行う融資を支援するために行われる市町村等に対する補助金である場合は項目名の頭に◎印をつけてください。

・	<input type="text"/>
・	<input type="text"/>
・	<input type="text"/>

【問3】

本調査内容について、疑問や意見がございましたらお書きください。

ご多用のところご協力ありがとうございました。

IV まとめ

社会保障給付費の規模を国際比較する場合、基本として捉えておかなければならないことが2つある。ひとつは、「社会保障給付費」の規模をどのようなものさしをつかって比較するかである。また、もうひとつは、「社会保障給付費」の中身が比較妥当なものかを諸外国の統計数値の検討をおこなうことである。

前者については、いずれの貨幣単位をとっても、為替レートで比較するよりも、対GDPや対国民所得で比較する方が実態を表している。また、一人当たりを単位にした比較でも同様のことが言えた。また、給付だけでなく財源の比較も給付と同様に各国の経済規模との比較で観察した。財源の種類は公費中心の国や社会保険料中心の国など様々だったが、過去20年の時系列の観察結果からは、その構造も規模もあまり大きく変化していないことがわかった。

後者については、周辺部分として、地方自治体の単独事業規模の推計と企業の複利厚生費中、社会保障給付の補完的役割を果たしていると考えられる費用を推計した。両者で概算37兆円を試算したが、これを加えると日本の社会保障費用は総額約104兆円になり、これは対国民所得比で約26.5%、対GDP比で20.2%となった。しかし、これで日本の社会保障費の規模が先進諸国との比較において大きくその地位が変わるわけではない。日本の社会保障支出の規模は依然として先進諸国の中では小さい方である。

本研究では、従来日本の社会保障給付費に含まれていなかった、社会保障の周辺部分費用の存在を試算とともにしめした。住宅給付と地方自治体の給付、そして企業の給付の3つである。いずれも試算には、厳密さを欠いているため、これをもって従来の推計の補足とすることには問題があろう。いままで固定的に考えられていた「社会保障給付費」も、社会の変化に応じて変わって行くものである。社会保障構造改革が行われようとしている今日、日本社会の社会保障に係る費用の見直しをする必要がある。

(参考資料) 社会保障の経済効果等について

目 次

I. 社会保障費の経済的効果に関する分析	1
1. 年金の地域への経済効果	1
2. 民生費など社会保障費が県民所得に占める比率	2
3. 社会保障の雇用創出効果	5
II. 年金の負担と給付に関する実証分析	8
1. 年金のシミュレーションの前提	9
2. 年金の負担、給付額と平均利回り	10
3. 年金の負担額、給付額の正味現在価値	20
(参考) 試算に対する有識者の意見	29

I. 社会保障費の経済的効果に関する分析

1. 年金の地域への経済効果

年金の県民所得に対する比率を見ると下表の通りである。全国的にみた場合、年金の県民所得に占める比率は6.3%となっている。また、都道府県別に見ると島根県、山口県、高知県、鹿児島県など、地方において比率が高く、年金が地域間の所得再配分の役割を果たしているといえる。

年金の県民所得に占める比率

(単位)	年金	県民所得	年金/県民所得
	百万円	百万円	%
全国	25,508,467	406,264,558	6.3
北海道	1,087,444	16,280,467	6.7
青森	240,164	3,779,968	6.4
岩手	266,437	3,831,669	7.0
宮城	393,355	6,814,206	5.8
秋田	242,128	3,277,843	7.4
山形	258,410	3,473,354	7.4
福島	410,032	6,147,456	6.7
茨城	483,333	9,152,675	5.3
栃木	351,776	6,602,010	5.3
群馬	388,265	6,376,852	6.1
埼玉	1,090,124	23,408,585	4.7
千葉	981,705	19,471,799	5.0
東京	2,440,925	50,976,403	4.8
神奈川	1,683,972	28,264,843	6.0
新潟	549,353	7,614,249	7.2
富山	288,212	3,598,249	8.0
石川	256,167	3,762,156	6.8
福井	192,351	2,424,932	7.9
山梨	157,503	2,666,545	5.9
長野	502,895	6,834,543	7.4
岐阜	451,186	6,291,565	7.2
静岡	829,546	12,027,842	6.9
愛知	1,397,641	26,819,004	5.2
三重	410,136	5,645,943	7.3
滋賀	254,995	4,618,037	5.5
京都	549,336	8,317,459	6.6
大阪	1,769,437	30,864,676	5.7
兵庫	1,264,658	17,238,772	7.3
奈良	271,382	3,992,408	6.8
和歌山	238,179	2,866,424	8.3
鳥取	135,296	1,659,011	8.2
島根	192,641	2,004,745	9.6
岡山	477,762	5,907,484	8.1
広島	692,669	8,962,283	7.7
山口	426,900	4,525,890	9.4
徳島	173,556	2,314,331	7.5
香川	247,449	3,015,859	8.2
愛媛	349,647	4,060,602	8.6
高知	184,784	2,005,588	9.2
福岡	1,054,538	14,058,569	7.5
佐賀	177,799	2,320,801	7.7
長崎	341,089	3,955,535	8.6
熊本	363,385	4,946,367	7.3
大分	247,017	3,354,651	7.4
宮崎	226,407	2,747,396	8.2
鹿児島	364,554	4,166,641	8.7
沖縄	145,836	2,817,871	5.2

年金/県民所得の高い都道府県

(単位)	年金	県民所得	年金/県民所得
	百万円	百万円	%
全国	25,508,467	406,264,558	6.3
島根	192,641	2,004,745	9.6
山口	426,900	4,525,890	9.4
高知	184,784	2,005,588	9.2
鹿児島	364,554	4,166,641	8.7
長崎	341,089	3,955,535	8.6
愛媛	349,647	4,060,602	8.6
和歌山	238,179	2,866,424	8.3
宮崎	226,407	2,747,396	8.2
香川	247,449	3,015,859	8.2
鳥取	135,296	1,659,011	8.2
岡山	477,762	5,907,484	8.1
富山	288,212	3,598,249	8.0
福井	192,351	2,424,932	7.9
広島	692,669	8,962,283	7.7
佐賀	177,799	2,320,801	7.7
福岡	1,054,538	14,058,569	7.5
徳島	173,556	2,314,331	7.5
山形	258,410	3,473,354	7.4
秋田	242,128	3,277,843	7.4
大分	247,017	3,354,651	7.4
長野	502,895	6,834,543	7.4
熊本	363,385	4,946,367	7.3
兵庫	1,264,658	17,238,772	7.3
三重	410,136	5,645,943	7.3
新潟	549,353	7,614,249	7.2
岐阜	451,186	6,291,565	7.2
岩手	266,437	3,831,669	7.0
静岡	829,546	12,027,842	6.9
石川	256,167	3,762,156	6.8
奈良	271,382	3,992,408	6.8
北海道	1,087,444	16,280,467	6.7
福島	410,032	6,147,456	6.7
京都	549,336	8,317,459	6.6
青森	240,164	3,779,968	6.4
群馬	388,265	6,376,852	6.1
神奈川	1,683,972	28,264,843	6.0
山梨	157,503	2,666,545	5.9
宮城	393,355	6,814,206	5.8
大阪	1,769,437	30,864,676	5.7
滋賀	254,995	4,618,037	5.5
栃木	351,776	6,602,010	5.3
茨城	483,333	9,152,675	5.3
愛知	1,397,641	26,819,004	5.2
沖縄	145,836	2,817,871	5.2
千葉	981,705	19,471,799	5.0
東京	2,440,925	50,976,403	4.8
埼玉	1,090,124	23,408,585	4.7

出所)年金は96年度厚生省、県民所得は96年度経済企画庁

2. 民生費など社会保障費が県民所得に占める比率

1) 民生費などの社会保障費の県民所得に占める比率(全国)

民生費(社会福祉費、老人福祉費、児童福祉費、生活保障費)、年金、医療費などの社会保障費の地域経済への影響度を、全国計で見ると以下の通りである。

内訳としては、年金が6.28%と最も大きく、次いで医療費1.18%、社会福祉費、老人福祉費、児童福祉費、生活保護費などの民生費が0.86%の順になっている。

社会保障費の県民所得に占める比率

	金額(百万円)	県民所得費(%)
民生費	3,508,550	0.86
社会福祉費	981,580	0.24
老人福祉費	1,240,275	0.31
児童福祉費	992,567	0.24
生活保護費	287,045	0.07
年金	25,508,467	6.28
医療	4,809,594	1.18
民生費、年金、医療	33,826,611	8.33
県民所得(全国計)	406,264,558	100.00

(出所) 民生費～生活保護費:1996年度自治省、年金、医療:1996年度厚生省
県民所得:1996年度経済企画庁

2) 都道府県別に見た社会保障費の動向

民生費、年金、医療費などの県民所得に対する比率を都道府県別に見ると以下の通りである。

民生費等の県民所得に占める比率

(単位)	民生費 百万円	社会福祉費 百万円	老人福祉費 百万円	児童福祉費 百万円	生活保護費 百万円	年金 百万円	医療 百万円	民生費+年金 +医療 百万円	県民所得 百万円	民生費(計) /県民所得 (%)
全国	3,508,550 (3508549)	981,580	1,240,275	992,567 (992566)	287,045 (287046)	25,508,467	4,809,594	33,826,611	406,264,558	8.3
北海道	167,806	42,013	52,139	41,604	32,010	1,087,444	318,613	1,573,863	16,280,467	9.7
青森	55,661	14,515	13,846	19,523	7,730	240,164	67,192	363,017	3,779,968	9.6
岩手	48,073	13,674	14,958	14,436	5,002	266,437	66,814	381,324	3,831,669	10.0
宮城	49,952	12,223	17,564	15,811	4,035	393,355	97,227	540,534	6,814,206	7.9
秋田	55,006	15,192	19,890	14,948	4,967	242,128	59,695	356,829	3,277,843	10.9
山形	33,701	9,894	11,446	10,486	1,871	258,410	55,027	347,138	3,473,354	10.0
福島	66,059	25,833	20,221	14,862	5,121	410,032	96,141	572,232	6,147,456	9.3
茨城	68,104	21,307	21,032	19,185	6,522	483,333	73,987	625,424	9,152,675	6.8
栃木	52,360	13,378	17,106	18,097	3,770	351,776	65,835	469,971	6,602,010	7.1
群馬	55,324	15,144	18,723	18,662	2,781	388,265	75,069	518,658	6,376,852	8.1
埼玉	127,649	43,138	44,172	34,209	6,101	1,090,124	132,083	1,349,856	23,408,585	5.8
千葉	91,359	20,518	35,547	29,573	5,173	981,705	108,379	1,181,443	19,471,799	6.1
東京	538,826	167,591	214,113	141,107	15,810	2,440,925	311,128	3,290,879	50,976,403	6.5
神奈川	123,289	41,259	43,032	34,222	4,712	1,683,972	175,319	1,982,580	28,264,843	7.0
新潟	64,154	17,547	27,054	16,018	3,520	549,353	118,207	731,714	7,614,249	9.6
富山	31,587	7,673	11,284	11,723	900	288,212	60,619	380,418	3,598,249	10.6
石川	35,793	7,460	15,582	10,881	1,866	256,167	69,178	361,138	3,762,156	9.6
福井	30,337	10,710	9,072	9,478	1,073	192,351	42,317	265,005	2,424,932	10.9
山梨	29,170	10,359	9,584	7,504	1,719	157,503	29,843	216,516	2,666,545	8.1
長野	55,365	18,268	18,125	14,948	4,011	502,895	83,703	641,963	6,834,543	9.4
岐阜	48,023	13,983	18,722	13,599	1,713	451,186	87,986	587,195	6,291,565	9.3
静岡	67,818	18,095	27,522	19,343	2,812	829,546	122,567	1,019,931	12,027,842	8.5
愛知	140,969	43,964	52,382	39,657	4,905	1,397,641	271,732	1,810,342	26,819,004	6.8
三重	46,588	14,640	13,963	13,567	4,407	410,136	69,118	525,842	5,645,943	9.3
滋賀	40,266	10,933	14,815	11,502	3,007	254,995	43,834	339,095	4,618,037	7.3
京都	59,666	17,900	20,513	15,836	4,399	549,336	114,765	723,767	8,317,459	8.7
大阪	205,326	48,445	89,467	61,442	5,703	1,769,437	382,833	2,357,596	30,864,676	7.6
兵庫	133,006	40,222	46,717	34,377	6,722	1,264,658	193,692	1,591,356	17,238,772	9.2
奈良	42,335	13,453	12,738	11,095	5,047	271,382	46,282	359,999	3,992,408	9.0
和歌山	40,719	13,217	13,104	10,511	3,879	238,179	43,455	322,353	2,866,424	11.2
鳥取	28,496	7,426	9,804	9,503	1,756	135,296	32,829	196,621	1,659,011	11.9
島根	33,866	9,341	13,154	8,726	2,640	192,641	40,271	266,778	2,004,745	13.3
岡山	51,023	13,620	19,110	13,963	4,318	477,762	107,117	635,902	5,907,484	10.8
広島	72,702	18,544	26,960	21,380	5,773	692,669	147,503	912,874	8,962,283	10.2
山口	51,884	13,336	19,035	15,274	4,186	426,900	70,751	549,535	4,525,890	12.1
徳島	38,025	8,281	12,777	9,675	7,286	173,556	44,875	256,456	2,314,331	11.1
香川	38,785	14,690	11,590	9,257	3,223	247,449	56,224	342,458	3,015,859	11.4
愛媛	45,483	11,011	15,632	14,131	4,706	349,647	74,028	469,158	4,060,602	11.6
高知	38,871	8,464	13,341	11,420	5,639	184,784	41,832	265,487	2,005,588	13.2
福岡	150,288	30,526	41,108	36,800	41,837	1,054,538	259,899	1,464,725	14,058,569	10.4
佐賀	33,047	8,217	10,922	10,026	3,872	177,799	43,889	254,735	2,320,801	11.0
長崎	59,564	12,883	18,765	19,382	8,501	341,089	74,680	475,333	3,955,535	12.0
熊本	57,697	13,019	19,516	20,026	5,120	363,385	88,829	509,911	4,946,367	10.3
大分	42,749	11,003	14,872	11,959	4,912	247,017	63,124	352,890	3,354,651	10.5
宮崎	43,062	11,325	12,386	15,038	4,300	226,407	53,036	322,505	2,747,396	11.7
鹿児島	71,255	15,865	23,851	19,330	12,202	364,554	82,617	518,426	4,166,641	12.4
沖縄	48,461	11,481	13,019	18,470	5,487	145,836	45,451	239,748	2,817,871	8.5

出所) 民生費～生活保護費：1996年度自治省
年金、医療：1996年度厚生省
県民所得：1996年度経済企画庁

これを都道府県別に見ると、民生費などの社会保障費の県民所得に対する比率が高い都道府県は、島根県、高知県、鹿児島県、山口県、長崎県などが非常に高くなっている。

民生費等(計)／県民所得に占める比率の高い都道府県順に整理した表

(単位)	民生費	社会福祉費	老人福祉費	児童福祉費	生活保護費	年金	医療	民生費+年金+医療	県民所得	民生費(計)／県民所得
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	(%)
全国	3,508,550	981,580	1,240,275	992,567	287,045	25,508,467	4,809,594	33,826,611	406,264,558	8.3
	(3508549)			(992566)	(287046)					
島根	33,866	9,341	13,154	8,726	2,640	192,641	40,271	266,778	2,004,745	13.3
高知	38,871	8,464	13,341	11,420	5,639	184,784	41,832	265,487	2,005,588	13.2
鹿児島	71,255	15,865	23,851	19,330	12,202	364,554	82,617	518,426	4,166,641	12.4
山口	51,884	13,336	19,035	15,274	4,186	426,900	70,751	549,535	4,525,890	12.1
長崎	59,564	12,883	18,765	19,382	8,501	341,089	74,680	475,333	3,955,535	12.0
鳥取	28,496	7,426	9,804	9,503	1,756	135,296	32,829	196,621	1,659,011	11.9
宮崎	43,062	11,325	12,386	15,038	4,300	226,407	53,036	322,505	2,747,396	11.7
愛媛	45,483	11,011	15,632	14,131	4,706	349,647	74,028	469,158	4,060,602	11.6
香川	38,785	14,690	11,590	9,257	3,223	247,449	56,224	342,458	3,015,859	11.4
和歌山	40,719	13,217	13,104	10,511	3,879	238,179	43,455	322,353	2,866,424	11.2
徳島	38,025	8,281	12,777	9,675	7,286	173,556	44,875	256,456	2,314,331	11.1
佐賀	33,047	8,217	10,922	10,026	3,872	177,799	43,889	254,735	2,320,801	11.0
福井	30,337	10,710	9,072	9,478	1,073	192,351	42,317	265,005	2,424,932	10.9
秋田	55,006	15,192	19,890	14,948	4,967	242,128	59,695	356,829	3,277,843	10.9
岡山	51,023	13,620	19,110	13,963	4,318	477,762	107,117	635,902	5,907,484	10.8
富山	31,587	7,673	11,284	11,723	900	288,212	60,619	380,418	3,598,249	10.6
大分	42,749	11,003	14,872	11,959	4,912	247,017	63,124	352,890	3,354,651	10.5
福岡	150,288	30,526	41,108	36,800	41,837	1,054,538	259,899	1,464,725	14,058,569	10.4
熊本	57,697	13,019	19,516	20,026	5,120	363,385	88,829	509,911	4,946,367	10.3
広島	72,702	18,544	26,960	21,380	5,773	692,669	147,503	912,874	8,962,283	10.2
山形	33,701	9,894	11,446	10,486	1,871	258,410	55,027	347,138	3,473,354	10.0
岩手	48,073	13,674	14,958	14,436	5,002	266,437	66,814	381,324	3,831,669	10.0
北海道	167,806	42,013	52,139	41,604	32,010	1,087,444	318,613	1,573,863	16,280,467	9.7
新潟	64,154	17,547	27,054	16,018	3,520	549,353	118,207	731,714	7,614,249	9.6
青森	55,661	14,515	13,846	19,523	7,730	240,164	67,192	363,017	3,779,968	9.6
石川	35,793	7,460	15,582	10,881	1,866	256,167	69,178	361,138	3,762,156	9.6
長野	55,365	18,268	18,125	14,948	4,011	502,895	83,703	641,963	6,834,543	9.4
岐阜	48,023	13,983	18,722	13,599	1,713	451,186	87,986	587,195	6,291,565	9.3
三重	46,588	14,640	13,963	13,567	4,407	410,136	69,118	525,842	5,645,943	9.3
福島	66,059	25,833	20,221	14,862	5,121	410,032	96,141	572,232	6,147,456	9.3
兵庫	133,006	40,222	46,717	34,377	6,722	1,264,658	193,692	1,591,356	17,238,772	9.2
奈良	42,335	13,453	12,738	11,095	5,047	271,382	46,282	359,999	3,992,408	9.0
京都	59,666	17,900	20,513	15,836	4,399	549,336	114,765	723,767	8,317,459	8.7
沖縄	48,461	11,481	13,019	18,470	5,487	145,836	45,451	239,748	2,817,871	8.5
静岡	67,818	18,095	27,522	19,343	2,812	829,546	122,567	1,019,931	12,027,842	8.5
群馬	55,324	15,144	18,723	18,662	2,781	388,265	75,069	518,658	6,376,852	8.1
山梨	29,170	10,359	9,584	7,504	1,719	157,503	29,843	216,516	2,666,545	8.1
宮城	49,952	12,223	17,564	15,811	4,035	393,355	97,227	540,534	6,814,206	7.9
大阪	205,326	48,445	89,467	61,442	5,703	1,769,437	382,833	2,357,596	30,864,676	7.6
滋賀	40,266	10,933	14,815	11,502	3,007	254,995	43,834	339,095	4,618,037	7.3
栃木	52,360	13,378	17,106	18,097	3,770	351,776	65,835	469,971	6,602,010	7.1
神奈川	123,289	41,259	43,032	34,222	4,712	1,683,972	175,319	1,982,580	28,264,843	7.0
茨城	68,104	21,307	21,032	19,185	6,522	483,333	73,987	625,424	9,152,675	6.8
愛知	140,969	43,961	52,382	39,657	4,905	1,397,641	271,732	1,810,342	26,819,004	6.8
東京	538,826	167,591	214,113	141,107	15,810	2,440,925	311,128	3,290,879	50,976,403	6.5
千葉	91,359	20,518	35,547	29,573	5,173	981,705	108,379	1,181,443	19,471,799	6.1
埼玉	127,649	43,138	44,172	34,209	6,101	1,090,124	132,083	1,349,856	23,408,585	5.8

出所) 民生費～生活保護費：1996年度自治省
年金、医療：1996年度厚生省
県民所得：1996年度経済企画庁

3. 社会保障の雇用創出効果

社会保障の経済的なこうかとして、ここでは既存の調査研究を引用し、紹介することとする。

1) 永峰幸三郎「福祉サービスと公共事業の経済波及効果の比較」

社会保障が経済に与える効果のひとつとして、雇用創出効果が推計されている。全国規模の推計としては、永峰幸三郎「福祉サービスと公共事業の経済波及効果の比較」『地方財務』(1997年)が平成二年度全国産業連関表(総務庁)を用いて分析を試みている。

(1) 生産額の波及効果

福祉部門に1兆円の需要があった場合を想定する。1兆円の需要に対して生み出される生産額を、産業連関表を用いて算出すると、福祉部門は1兆5,162億円になる。ちなみに、平成二年度産業連関表によると、福祉部門の生産額は全国で3兆5,658億円となっている。

(2) 雇用創出効果

産業連関表の部門別雇用表から労働力係数を求め、生産の拡大に伴う雇用の増加数を推計すると、福祉部門では、1兆円の需要に対して29万469人の雇用創出効果が見込まれる。

図表 1兆円の需要に対する雇用創出効果(人)

農林水産業	21,385	建設	1,624
鉱業	56	電力ガス熱	766
食料品	6,241	水道廃棄物	1,086
繊維製品	4,274	商業	32,053
パルプ紙木	2,667	金融・保険	6,697
化学製品	1,758	不動産	1,857
石油石炭製	84	運輸	5,824
窯業・土石	492	通信放送	2,695
鉄鋼	228	公務	158
非鉄金属	136	教育研究	2,755
金融製品	1,233	医療社会保険	154,697
一般機械	329	その他公共	1,608
電気機械	1,328	対事業サービス	14,560
輸送用機械	924	対個人サービス	16,811
精密機械	388	事務用品	0
その他製造	5,701	分類不明	55
		合計	290,469

(出所) 永峰幸三郎「福祉サービスと公共事業の経済波及効果の比較」『地方財務』(1997年)

2) 福祉マンパワーの需要推計手法の開発(平成8年2月 財団法人 医療経済研究機構)

■ 研究の目的と手法

(1) 研究目的

福祉マンパワーの将来における需要および供給についてシミュレーションを実施、分析・検討する。分析に当たっては、以下の点に留意する。

- ①福祉マンパワーの必要数、将来推計、需要および供給のついて数量的なフレームワークをつくり、福祉マンパワーの労働市場の特殊性を分析する。
- ②従来の腰だめの推計手法に代わる福祉マンパワーの需要および供給についての将来推計手法を新たに開発する。

(2) 需要推計の方法

シミュレーションによる需要推計は、需要については将来の必要性から推計する規範的な将来推計を採用し、供給については実証的な視点に立って推計する。また、需要と供給を連結させるロジックとしては、現状の福祉マンパワーの供給と需要の因果関係を分析することにより、組み立てることとする。

■ 研究手法

システムダイナミック手法による。SD手法による分析は、以下のステップで推進する。

- ①因果関係の構築
- ②SDフローダイアグラムの作成
- ③DYNAMOによるプログラミング
- ④シミュレーションの実施とプロトタイプを検証
- ⑤政策検討

(1) シミュレーションの前提条件

シミュレーションの開始年度は、1992年度から2010年度とする。(マンパワー需要の参照値である新ゴールドプランが策定されたのが1992年度の人材数によっているため)

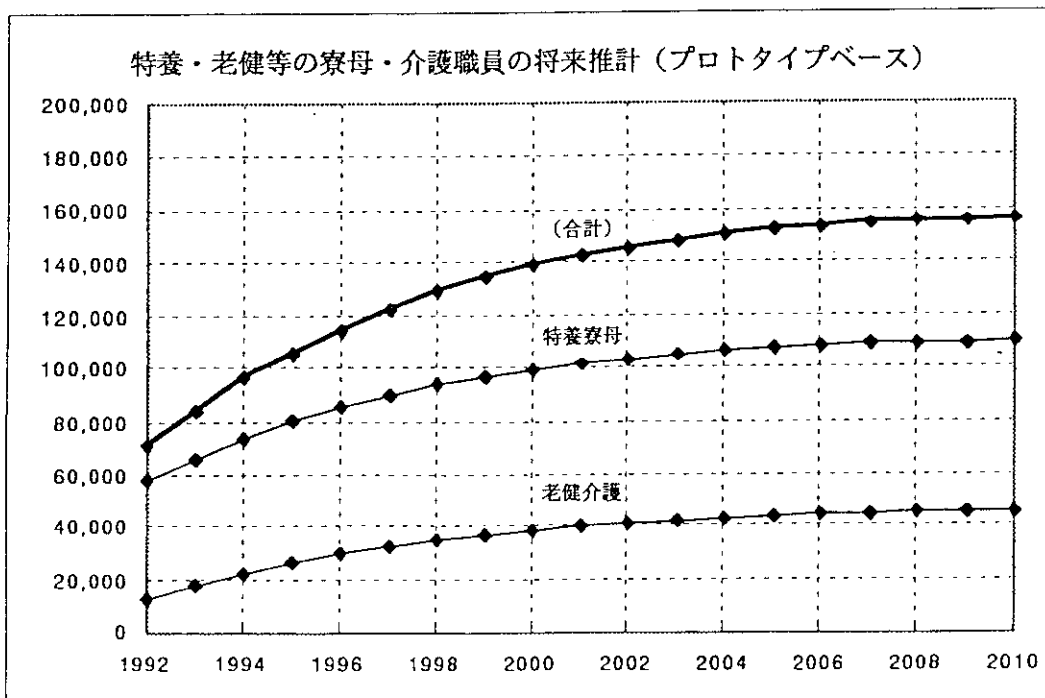
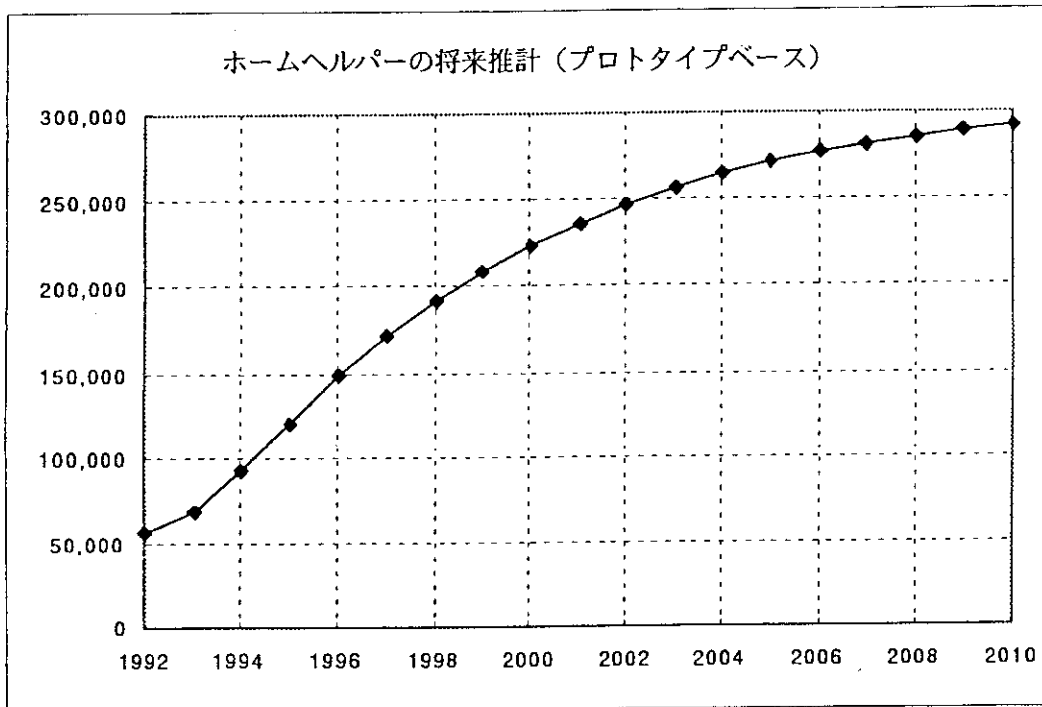
(2) シミュレーションの結果

現況が映す将来の福祉マンパワー予測

プロトタイプを構成する諸条件下では、1999年度におけるホームヘルパーの数は約21万人となっており、新GPの整備目標である17万人の達成が可能と考えられる。しかしながら、同時期の特養・老健施設の寮母・介護職員の合計数は14万人弱しか見込めず、新GPの20万人には、まだまだ及ばないことが予想される。

また、公的介護保険の議論の中で、高齢者介護システムのサービスの基盤整備について疑問が提示され、新GPが計画する福祉マンパワーでは、介護サービスの整備が量的に不十分であると考えられており、平成8年1月末に発表された老人保健福祉審議会「第2次報告」の試算ではホームヘルパーの需要について、2000年に17～22万人、2005年に34万人、2010年に56万

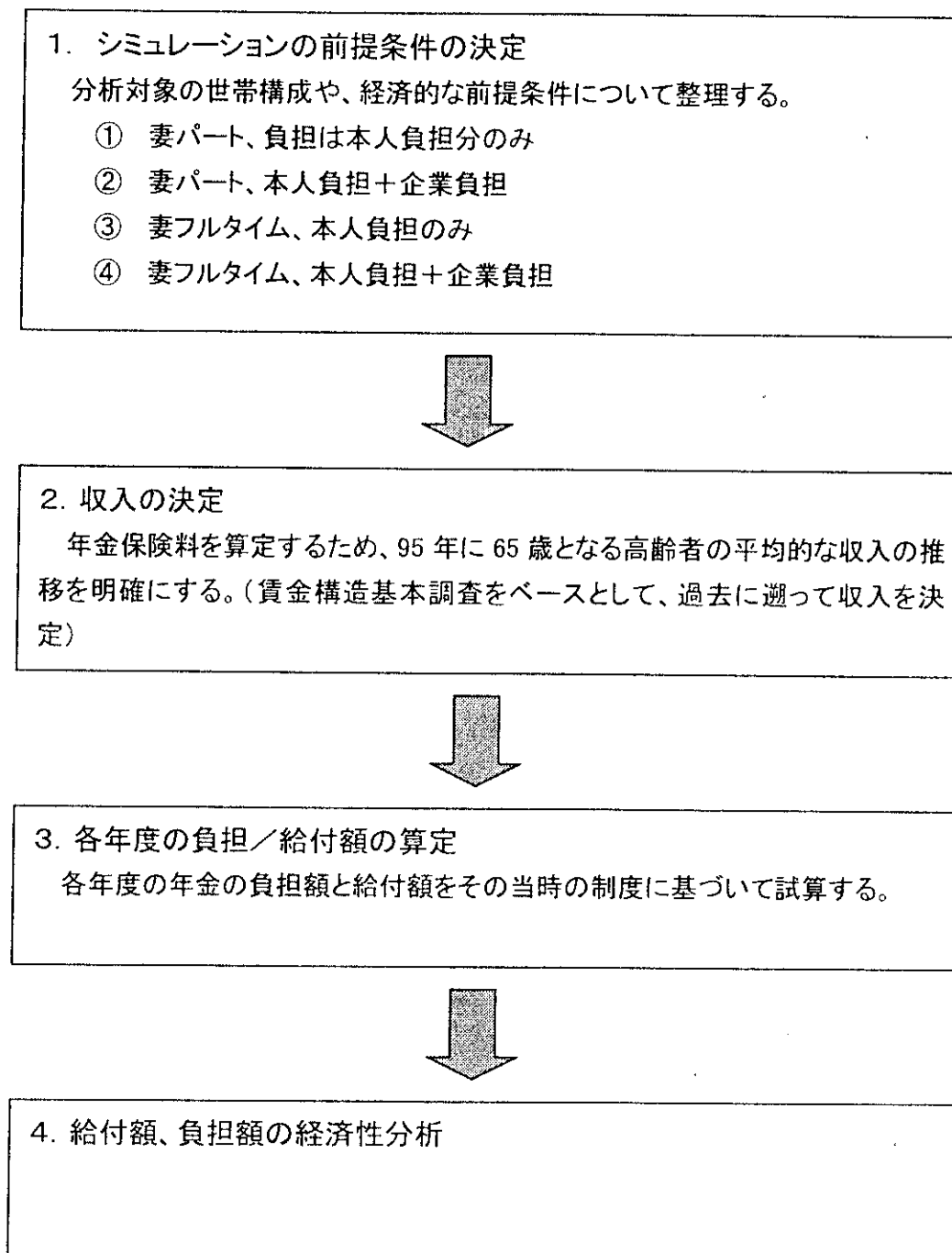
人と予測している。この時にはプロトタイプのスミュレーション結果からホームヘルパーについても不足することがわかる。



(出所) 福祉マンパワーの需要推計手法の開発(平成8年2月 財団法人 医療経済研究機構)

Ⅱ. 年金の負担と給付に関する実証分析

ここでは、年金の負担と給付の関係について分析するため、以下のようなフローで分析を実施する。



1. 年金のシミュレーションの前提

平成7年時の夫の年齢が65歳の方を事例として取り上げ、年金の負担と給付の関係について、世帯単位での分析を行う。なお、妻については、就業形態をフルタイムとパートの場合に分けて分析する。

1) 試算の前提条件

○結婚 夫28歳、妻26歳

○出産 第一子 妻27歳で出産

第二子 妻30歳で出産

○就労期間

夫：一般勤労者、22歳～60歳

妻：パートタイム勤務の場合は、22歳～25歳（フルタイム）、37歳～49歳（パート）とする。

フルタイム勤務の場合は、22歳から60歳までフルタイム勤務とする。

○寿命 夫76歳、妻83歳

2) 年収の推計

夫：賃金構造基本調査により、各年時点における各年齢ごとの雇用者平均賃金を算定。

妻：同調査によりパート、フルタイムの2ケースについて収入を算定。

3) 負担の試算

負担の試算は、過去の制度改正や将来予定されている制度改正は折り込んで、当該時点の制度に基づいて試算を行う。

4) 給付の試算

各時点の制度に基づき、支給開始年齢から給付金額を推計する。

5) 各種経済指標の前提

予定利率 4.5%

賃金上昇率 3%

2. 年金の負担、給付額と平均利回り

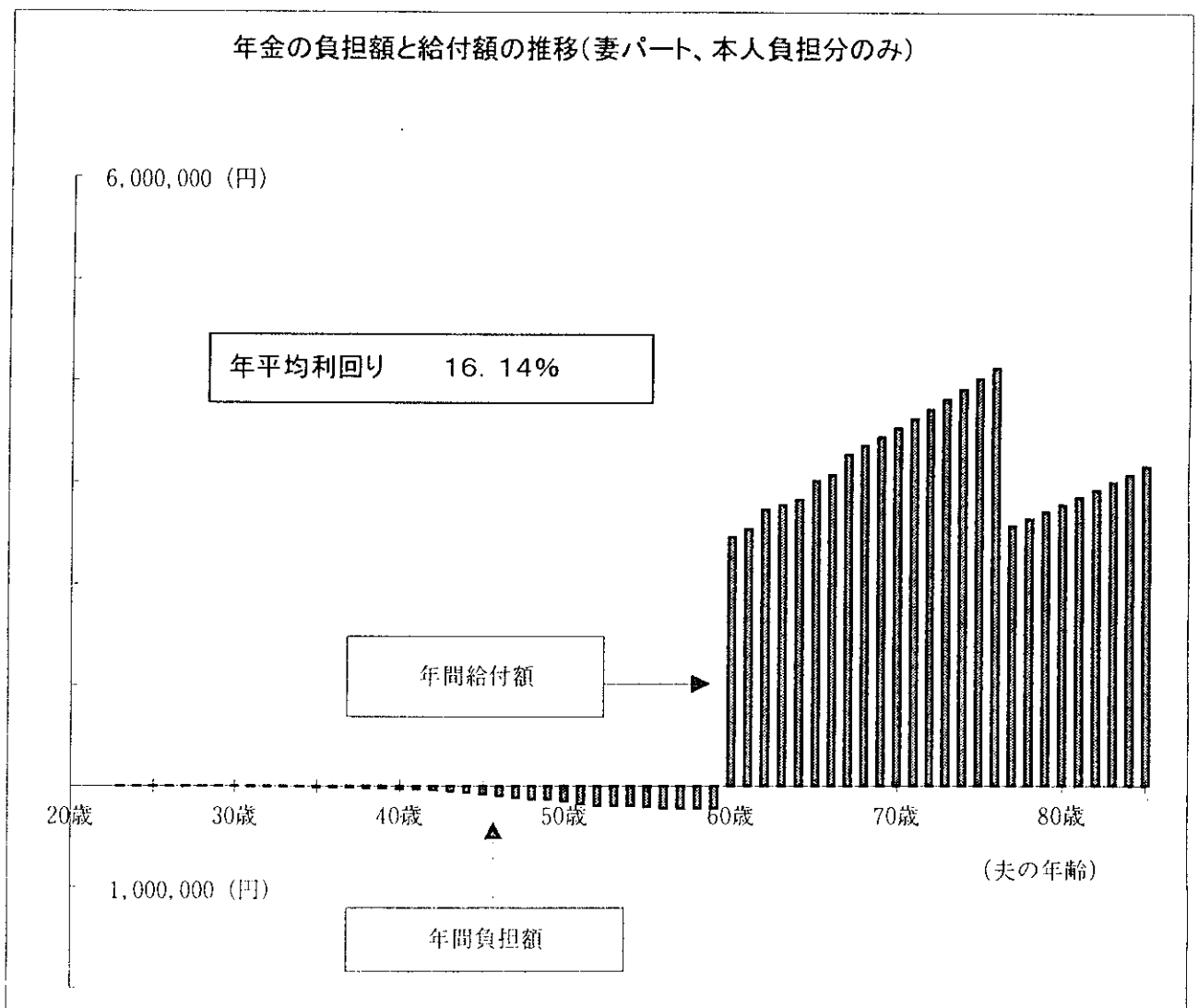
前述のような前提に基づき試算した結果は、以下の通りである。

1) 年金の給付額と負担額の推移(妻パート、本人負担分のみ)

95年に夫が65歳になる世帯の負担額と給付額の推移を見ると、下図の通りである。

この例では、22歳から厚生年金に加入し保険料を60歳まで支払い、60歳から年金を受給している。また、このモデルでは、夫が76歳で死亡するためそこで年金額が減少することとなる。

この図を見てわかるように、この世代は自らの負担額に比較して非常に多額の年金を給付されることとなり、それを利回りとして計算すると実に年平均16.14%になる。



■95年に65歳コーホート（妻パート）の平均利回り

年金（本人負担のみ）

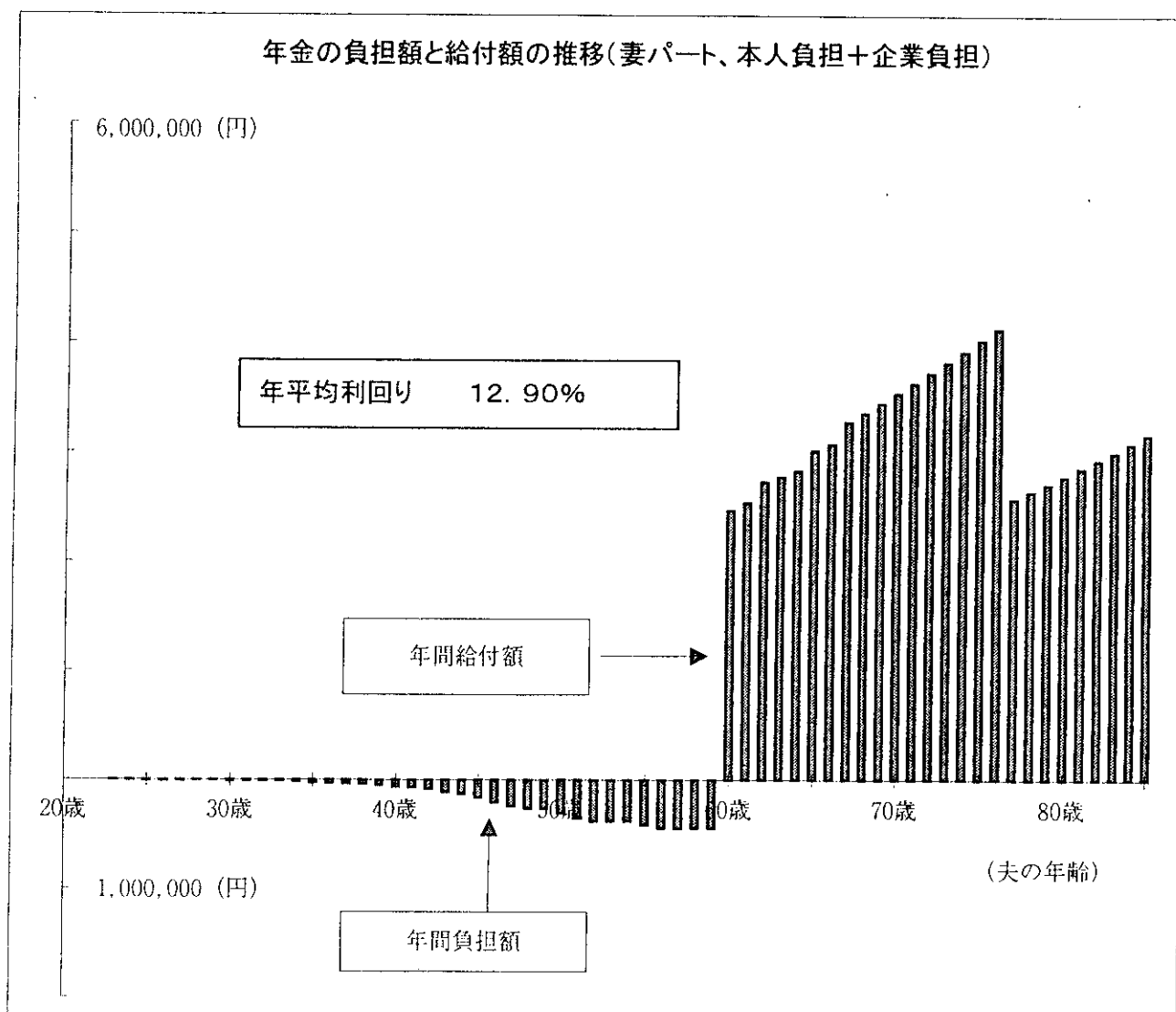
西暦（年）	夫の年齢（歳）	妻の年齢（歳）	年間負担額（円）	年間給付額（円）	金利（%）
1950	20				
1951	21				
1952	22	20			
1953	23	21	2,160		16.14
1954	24	22	2,520		16.14
1955	25	23	4,500		16.14
1956	26	24	4,680		16.14
1957	27	25	5,040		16.14
1958	28	26	3,240		16.14
1959	29	27	3,240		16.14
1960	30	28	4,565		16.14
1961	31	29	5,460		16.14
1962	32	30	5,880		16.14
1963	33	31	6,930		16.14
1964	34	32	7,560		16.14
1965	35	33	13,440		16.14
1966	36	34	14,850		16.14
1967	37	35	17,160		16.14
1968	38	36	19,800		16.14
1969	39	37	25,020		16.14
1970	40	38	31,992		16.14
1971	41	39	34,684		16.14
1972	42	40	42,240		16.14
1973	43	41	55,476		16.14
1974	44	42	64,752		16.14
1975	45	43	82,080		16.14
1976	46	44	103,200		16.14
1977	47	45	120,120		16.14
1978	48	46	131,040		16.14
1979	49	47	131,040		16.14
1980	50	48	153,660		16.14
1981	51	49	178,080		16.14
1982	52	50	190,800		16.14
1983	53	51	190,800		16.14
1984	54	52	190,800		16.14
1985	55	53	207,000		16.14
1986	56	54	223,200		16.14
1987	57	55	223,200		16.14
1988	58	56	223,200		16.14
1989	59	57	223,200		16.14
1990	60	58	0	2,465,516	16.14
1991	61	59	0	2,540,229	16.14
1992	62	60		2,732,454	16.14
1993	63	61		2,777,619	16.14
1994	64	62		2,831,096	16.14
1995	65	63		3,019,563	16.14
1996	66	64		3,076,536	16.14
1997	67	65		3,277,651	16.14
1998	68	66		3,362,870	16.14
1999	69	67		3,450,304	16.14
2000	70	68		3,540,012	16.14
2001	71	69		3,632,053	16.14
2002	72	70		3,726,486	16.14
2003	73	71		3,823,375	16.14
2004	74	72		3,922,782	16.14
2005	75	73		4,024,775	16.14
2006	76	74		4,129,419	16.14
2007		75		2,574,791	16.14
2008		76		2,641,736	16.14
2009		77		2,710,421	16.14
2010		78		2,780,892	16.14
2011		79		2,853,195	16.14
2012		80		2,927,378	16.14
2013		81		3,003,490	16.14
2014		82		3,081,581	16.14
2015		83		3,161,702	16.14

2)年金の給付額と負担額の推移(妻パート、本人負担+企業負担)

95年に夫が65歳になる世帯の負担額と給付額の推移を見ると、下図の通りである。

このケースは、負担額に本人負担分だけでなく、企業の負担分を合わせて表している。これは、企業負担分は本来、給与として本人に支払われるべきものが、企業負担として支払われていると考えられるからである。

このように考えた場合の年平均利回りは12.90%となる。このように、企業負担を含めて考えても、この世代は、負担に比較して大きな給付を受けることとなる。



■95年に65歳コーホート（妻パート）の平均利回り

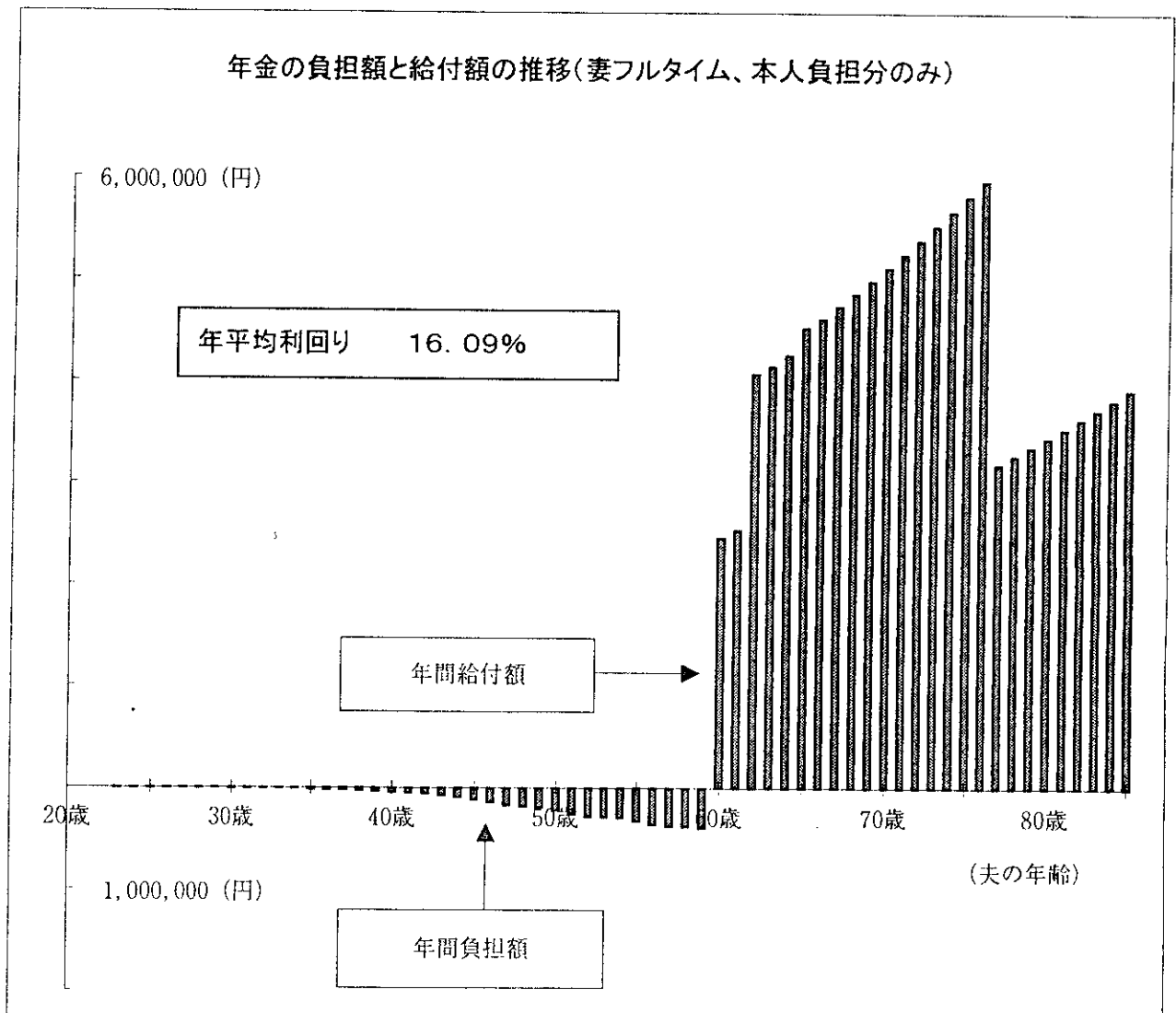
年金（本人負担十企業負担）

西暦（年）	夫の年齢（歳）	妻の年齢（歳）	年間負担額（円）	年間給付額（円）	金利（%）	
1950		20				
1951		21				
1952		22	20			
1953		23	21	4,320	12.90	
1954		24	22	5,040	12.90	
1955		25	23	9,000	12.90	
1956		26	24	9,360	12.90	
1957		27	25	10,080	12.90	
1958		28	26	6,480	12.90	
1959		29	27	6,480	12.90	
1960		30	28	9,130	12.90	
1961		31	29	10,920	12.90	
1962		32	30	11,760	12.90	
1963		33	31	13,860	12.90	
1964		34	32	15,120	12.90	
1965		35	33	26,880	12.90	
1966		36	34	29,700	12.90	
1967		37	35	34,320	12.90	
1968		38	36	39,600	12.90	
1969		39	37	50,040	12.90	
1970		40	38	63,984	12.90	
1971		41	39	69,368	12.90	
1972		42	40	84,480	12.90	
1973		43	41	110,952	12.90	
1974		44	42	129,504	12.90	
1975		45	43	164,160	12.90	
1976		46	44	206,400	12.90	
1977		47	45	240,240	12.90	
1978		48	46	262,080	12.90	
1979		49	47	262,080	12.90	
1980		50	48	307,320	12.90	
1981		51	49	356,160	12.90	
1982		52	50	381,600	12.90	
1983		53	51	381,600	12.90	
1984		54	52	381,600	12.90	
1985		55	53	414,000	12.90	
1986		56	54	446,400	12.90	
1987		57	55	446,400	12.90	
1988		58	56	446,400	12.90	
1989		59	57	446,400	12.90	
1990		60	58	0	2,465,516	12.90
1991		61	59	0	2,540,229	12.90
1992		62	60		2,732,454	12.90
1993		63	61		2,777,619	12.90
1994		64	62		2,831,096	12.90
1995		65	63		3,019,563	12.90
1996		66	64		3,076,536	12.90
1997		67	65		3,277,651	12.90
1998		68	66		3,362,870	12.90
1999		69	67		3,450,304	12.90
2000		70	68		3,540,012	12.90
2001		71	69		3,632,053	12.90
2002		72	70		3,726,486	12.90
2003		73	71		3,823,375	12.90
2004		74	72		3,922,782	12.90
2005		75	73		4,024,775	12.90
2006		76	74		4,129,419	12.90
2007			75		2,574,791	12.90
2008			76		2,641,736	12.90
2009			77		2,710,421	12.90
2010			78		2,780,892	12.90
2011			79		2,853,195	12.90
2012			80		2,927,378	12.90
2013			81		3,003,490	12.90
2014			82		3,081,581	12.90
2015			83		3,161,702	12.90

3) 年金の給付額と負担額の推移(妻フルタイム、本人負担分のみ)

これは、妻がフルタイムで働いた場合の年金の負担、給付である。このケースでは、妻は夫の2年後に年金を給付されるようになるため、その時点で年金額が増加している。

このケースの年平均利回りを計算すると16.09%であり、これは、妻がパートタイムの場合とほぼ同じ利回りである。



■95年に65歳コホート（妻フルタイム）の平均利回り

年金（本人負担のみ）

西暦（年）	夫の年齢（歳）	妻の年齢（歳）	年間負担額（円）	年間給付額（円）	金利（%）
1950	20				
1951	21				
1952	22	20			
1953	23	21	2,160		16.09
1954	24	22	2,520		16.09
1955	25	23	4,500		16.09
1956	26	24	4,680		16.09
1957	27	25	5,040		16.09
1958	28	26	5,040		16.09
1959	29	27	5,400		16.09
1960	30	28	6,725		16.09
1961	31	29	7,980		16.09
1962	32	30	8,760		16.09
1963	33	31	10,170		16.09
1964	34	32	11,160		16.09
1965	35	33	18,489		16.09
1966	36	34	20,466		16.09
1967	37	35	22,776		16.09
1968	38	36	26,820		16.09
1969	39	37	33,320		16.09
1970	40	38	42,756		16.09
1971	41	39	46,486		16.09
1972	42	40	56,064		16.09
1973	43	41	75,508		16.09
1974	44	42	94,680		16.09
1975	45	43	116,184		16.09
1976	46	44	144,852		16.09
1977	47	45	168,300		16.09
1978	48	46	182,724		16.09
1979	49	47	189,732		16.09
1980	50	48	222,672		16.09
1981	51	49	258,630		16.09
1982	52	50	283,110		16.09
1983	53	51	284,130		16.09
1984	54	52	290,700		16.09
1985	55	53	324,420		16.09
1986	56	54	359,700		16.09
1987	57	55	375,330		16.09
1988	58	56	377,310		16.09
1989	59	57	392,940		16.09
1990	60	58	199,980	2,465,516	16.09
1991	61	59	221,325	2,540,229	16.09
1992	62	60		4,081,227	16.09
1993	63	61		4,148,685	16.09
1994	64	62		4,264,255	16.09
1995	65	63		4,534,706	16.09
1996	66	64		4,620,266	16.09
1997	67	65		4,740,393	16.09
1998	68	66		4,863,643	16.09
1999	69	67		4,990,098	16.09
2000	70	68		5,119,840	16.09
2001	71	69		5,252,956	16.09
2002	72	70		5,389,533	16.09
2003	73	71		5,529,661	16.09
2004	74	72		5,673,432	16.09
2005	75	73		5,820,941	16.09
2006	76	74		5,972,286	16.09
2007		75		3,198,223	16.09
2008		76		3,281,377	16.09
2009		77		3,366,692	16.09
2010		78		3,454,226	16.09
2011		79		3,544,036	16.09
2012		80		3,636,181	16.09
2013		81		3,730,722	16.09
2014		82		3,827,721	16.09
2015		83		3,927,241	16.09

4) 年金の給付額と負担額の推移(妻フルタイム、本人負担+企業負担)

これは、妻がフルタイムで働いた場合の年金の負担、給付であり、負担には本人負担だけでなく企業負担を含めたものを示している。

このケースの年平均利回りを計算すると12.75%であり、これは、妻がパートタイムの場合とほぼ同じ利回りである。

